

提案仕様書

(野々池貯水池利活用調査業務委託)

1. 業務目的

本業務は、明石市の中央部に位置する野々池貯水池及びその周辺に対し、地域特性を踏まえた土地の有効利用の可能性について調査するとともに、野々池貯水池の利活用の方向性を検討することを目的とする。

2. 業務範囲

野々池貯水池（明石市明南町3丁目1-1） 別紙参照

対象敷地面積：223,501 m²

3. 履行期間

契約締結日の翌日から令和8年3月31日まで

4. 業務内容

(1) 業務の背景の整理

① 上位計画、関連計画

あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画・2022年度）及び明石市地域防災計画（2023年度修正）等の上位計画や対象地が位置する周辺施設の関連データ等を踏まえ、これまでの経緯、現況を整理する。

② 水利権、水利用、利害関係者との調整状況

野々池貯水池の水を使用している農業利用者等の現況、調整状況を整理する。

③ 既往資料の整理

当該土地利用にかかる既往の検討状況等について収集し、現段階の検討状況について整理する。

(2) 現況の整理

① 用途地域・土地利用

野々池貯水池及びその周辺の用途地域を整理する。また、周辺にある公共施設などの土地利用についても整理する。

② 現況施設の利用状況

野々池貯水池の水道原水の貯水池以外の利用状況（市民の利用状況等）について整理する。

(3) 法令整理

① 法規制、法令関連の手続き

土地開発、用地に関する規制、騒音・振動、悪臭等の環境法令に関しても整理する。

② 上位計画（関連計画）

明石市都市計画マスタープラン、都市計画（用途地域など）、都市計画道路、下水道計画等について整理する。

（４）用地条件の整理

① 野々池貯水池の概要整理

野々池貯水池の概要、設備の状況、形状寸法などについて整理する。

② 残置および移設が必要な施設の整理

野々池貯水池の堤体等に埋設している配管類や設備等の支障物件について、調査を行い、残置及び移設についての整理をする。

③ 土地の利用形態

第３者に土地を売却、有償貸与およびその他の利用形態（現況の状態で何もしない等）について整理をする。

④ 野々池貯水池までの接続道路条件

現状、野々池貯水池までの接続道路は、住宅街を通る道路しかないため、開発行為を行う場合、別途、野々池貯水池までの接続道路が必要となる。都市計画道路の計画と合わせ、接続道路条件を整理する。

⑤ 都市計画変更等の必要性

市街化調整区域で開発できるものを整理し、市街化区域に変更することによる優位性を示したうえで、線引き変更を行う必要性を整理する。

（５）方向性の検討

上記（１）～（４）の整理条件より、有効な利活用方法の検討を行う。利活用の方向性は、下記の内容に分けて整理をする。

① 短期的な利活用の方向性

野々池貯水池の利活用を 10～20 年程度の期間にて行う場合の方向性を整理する。

② 中長期的な利活用の方向性

野々池貯水池の利活用を 20 年以上（永年）の期間にて行う場合の方向性を整理する。

5. ヒアリング調査の実施

事業化の可能性を把握するため適宜、民間事業者にヒアリングを行う。

6. 報告書の作成

検討内容について、報告書にまとめる。

- | | |
|---------------|-----|
| ・ 報告書（ファイル綴じ） | 2 部 |
| ・ 図面などの資料 | 一式 |
| ・ 上記の電子データ | 一式 |
| ・ 打合せ協議簿 | 一式 |

7. 打合せ協議

本委託業務の内容に係る主たる打合せは、業務計画書に記載するものとする。なお、主たる打合せ時期は概ね下記による。

- (1) 第1回打合せ
- (2) 中間打合せ (3回以上とする)
- (3) 最終打合せ

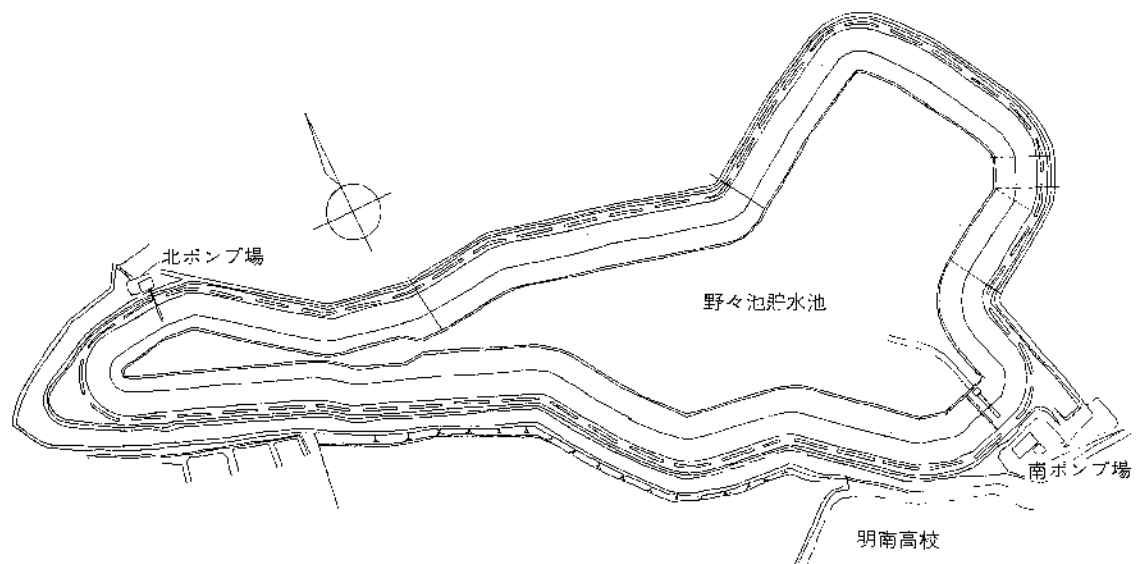
野々池貯水池 位置図

野々池貯水池概要

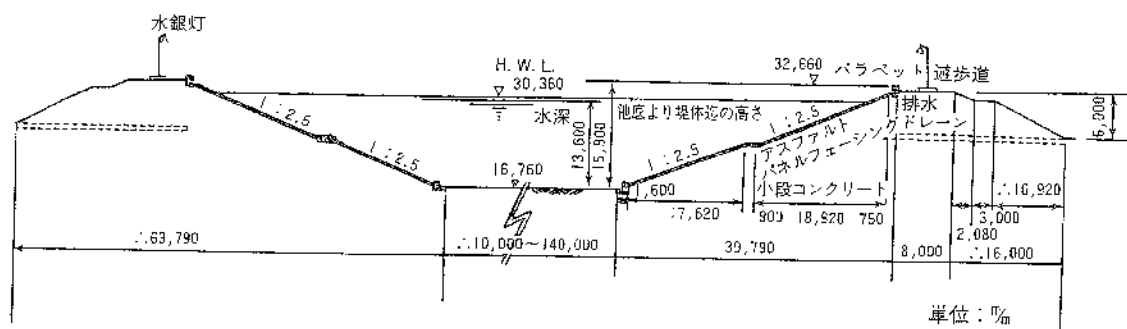
- ・所在地 : 明石市明南町3丁目1-1
- ・堤体形式: 表面遮水壁型フィルタイプダ
- ・堤体長さ: 約2,200m
- ・有効水深: 13m

Copyright(C)2024 ZENRIN CO., LTD.

- ・所在地：明石市明南町3丁目1-1
- ・堤体形式：表面遮水壁型フィルタイプダム
- ・堤体長さ：約2,200m
- ・有効水深：13m
- ・敷地面積：約22.3ha(ヘクタール)
- ・計画貯水量：1,412,000m³
- ・供用開始：昭和49年5月31日



野々池貯水池 平面図



野々池貯水池 断面図

野々池貯水池 航空写真

